



三木高大 自治会新聞

令和2年2月号 (No.163)

発行 三木市高齢者大学学生自治会
発行責任者 自治会会長 松本 桂
編集者 自治会新聞編集委員会
発行日 2020(令和2)年2月13日
<http://koureisyadaigaku.cccp.jp>

1月の教養講座から

北播磨総合医療センター出前講座
「不整脈ってな～に？」心筋梗塞と狭心症を防ぐために
(講師)北播磨総合医療センター

循環器内科部長 吉田 明弘 様

今回の「心筋梗塞・狭心症」の講座をもう少し早く受講したかったです。一昨年夏に脳梗塞で入院生活を過ごしました。これまで「当たり前」と思っていたことすべてが「当たり前」でなくなり生活が変わりました。当時は地区の区長という大役を受けており、今後の地区の仕事・高大・NPO 活動をどう進めるかなどの気持ちの整理が全く出来ない状態に有り途方にくれておりました。しかし、高大の件は学友に「心配しなくていいよ。学年での〇〇役は自分が代わってあげる」と親切に言って頂き、気分的に凄く楽になりました。



今は手足は少し不自由ですが、家族や周囲の皆さんに支えられ過ごしている昨今です。今後、沢山の方に迷惑をかけないために、今回の講座内容をよく理解し、感謝の気持ちで頑張りたいです。

3年4班 赤井 奇雄

専門講座だより(古典学科)

古典に学ぶ

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色。盛者必衰の理をあらはす」ご存じ、平家物語は冒頭の書き出しですが、この澁みなく流れる水のような文章表現に深い感銘を受けたのが10代の頃の話。

半世紀経った今、私は高齢者大学で古典を専攻している。講義内容は「源氏物語を読む」黒田先生に丁寧に教えて頂いている。

紫式部によって書かれたこの物語は54帖(巻)からなる長編小説で、筋立て良く、心理描写の巧さ、文章の美しさなどから、日本文学史上、最高の傑作と称されているそうです。「いづれの御時にか、女御、更衣あまたさぶらひたまひけるなかに、いとやむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時めきたまふありけり。」第1帖桐壺の章の書き出しである。天皇を父とし、美しい女性を母として生まれた主人公「源氏(光源氏)」波乱の生涯の始まりです。幼くして母を失った源氏は愛に飢えているかのように次々に女性を求めて行く。その色合いが強いように思え、内容的には好きになれないが、第3帖空蝉の章で源氏が意中の人の所へお忍びした時の描写、「衣を押しやりて寄りたまへるに、ありしけはひよりはものものしくおぼゆれど、思ほしも寄らずかし。」失笑、人違いしてしまった！

物語の中には795首の和歌も含まれており、枕詞・掛詞・漢詩等で情緒豊かなところも楽しみだ。昼食終えて1時間、原文の読み合わせが始まる、席の日差しが暖かい、女性たちの綺麗な声が遠く聞こえてくる……。

「♪おきつ舟よるべ波路に漂はば……」ゆりかごの歌のように……。

1年3班 中塚 秋信

学年通信(2年生)

* オリンピックの年に向けて！ *

今年度の行事もあと今月の大学祭のみとなりました。

2019年度を振り返ると、一番思い出に残ったのは、やはり10月の体育祭で、ライバルの3年生を抑え、大差(1点?)で念願の総合優勝です。

今回、実行委員のメンバーを中心に、全員が応援歌の作成、独創的な応援幕の製作、手製の創作楽器作り、創作ダンスの練習、登校日の早朝練習、昼休みの特訓、ふり返れば、今年度2年生のスローガン「より親睦を深めよう」どおりになりました。

一方、春のグラウンド・ゴルフ大会は結果を出せませんでした。2年生の同好会の練習は、月二回、常時20名前後が参加し、楽しんでいます。結果、昨年末にはホールインワンが3名も出ました。確実に腕を上げており、次回の大会が楽しみです。

年間行事の中に、春季、秋季の清掃活動がありますが、2年生は、ほとんどのメンバーが積極的に参加。終了後、親睦深めるための食事会は恒例になっています。先日は忘年会を兼ねた食事会でしたが、参加者全員に生活に密着した豪華景品?が当たり、また、持ち帰って、ご家族やお孫さんにも楽しんでもらえる創作?クイズもありました。

一年をふり返ると体調を崩したメンバーもあり、そのうち数名が入院、手術という事態になりましたが、クラスメンバーの真心の激励で復帰、今は34名全員元気に学生生活をエンジョイしています。

そこで、愛称「ワンダフル30」2年生のオリンピッククイヤーの目標は次の通りです。頑張りましょう。

- ① 健康維持管理でメンバー全員が卒業旅行の参加準備
- ② 春のグラウンド・ゴルフ大会で初優勝
- ③ 秋の体育祭で連覇



三木高師大 秋期研修旅行 令和元年11月8日 於 名勝「明鏡湖」

2年3班 尾上 勸

ひろば

私が神戸市に採用になったのは、1971年12月という暮れも押し迫った変な時期でした。「老人医療費無料化の請願」が採択され翌年の1月1日に実施されることになったため、当時無職であった私は繰り上げ採用になりました。その後は曲りなりにも順調に推移いたしましたが、職場生活40有余年の中で未だに忘れられないできごとは、やはり95年1月17日の阪神淡路大震災です。

94年4月に新米の市民病院担当として着任、その翌年1月に未曾有の出来事が起こりました。病院のあるポートアイランドが液状化現象で通行が極めて困難となり当然ポートライナーも動きません。病院そのものの被害も凄まじく、また患者さんの通院手段が非常に困難になったことにより、病院機能をほぼ停止状態にすることとなりました。しかしこの判断が大きな誤りであったことは事後に思い知らされました。医療提供の最後の砦である中央市民病院でこのような事態が起きたため、市の周辺で無事であった病院のご努力はあったものの、肝心の地域医療体制は極めて困難な状況に立たされ、また市民の期待も裏切ったことになったからです。

当時意思決定に参画できる立場にいた自分自身に、保身の考え方が無かったか、震災後25年経った今でも頭の中をよぎります。この時に得た教訓は、物事の判断において安易な方向に流れてはだめだということであり、その後の人生に大きく影響を及ぼしたことは言うまでもありません。

4年1班 井口 實嬉信

令和2年度大学生募集

三木市高齢者大学では、新年度入学生を募集しています。ご近所、お友達、お知り合いの方に大いにPRしていただき、お誘いくださるようお願いいたします。

募集案内及び入学願書は、まなびの郷みずほ、教育委員会生涯学習課（市役所5階）、市立公民館、三木南交流センターなど市の施設に置いてあります。

◇入学資格 三木市内に住所を有する60歳以上の学習意欲のある方で、学生自治会活動に参加し、かつ、地域活動に関心、意欲のある方

※ 本大学の卒業生も再入学できます。

◇募集定員 50名（先着順）

◇学習講座 教養課程及び専門課程（園芸、健康福祉、情報、古典、郷土史）

◇学費等 入学金12,000円、受講料10,000円/年間、自治会費3,500円/年間

◇願書受付 2月28日（金）まで、火～金曜日の9時から16時、郵送も可

◇問い合わせ 高齢者大学事務局（市立まなびの郷みずほ内 ☎88-2550）

◇詳しくは <http://koureisyadaigaku.cccp.jp>



教務主任 藤原 良一

大学祭のご案内

令和2年2月22日（土）、23日（日）に第28回三木市高齢者大学大学祭が開催されます。学友会、大学院、自治会、高大生が1年間の締めくくりとして、クラブ活動などにおいて切磋琢磨してきた技を皆様に披露する日です。

毎日の練習を積み重ねてこられて60歳越えの初舞台となる方、何度も撮り直し、作り直し、思い悩んだ末に完成させ初出品となる方、さらに一段と鍛えられた喉、磨かれた芸、会心作の展示発表日を迎える方々。この大学祭を成長の指標として取り組んで来られ、開催日まで「ワクワク」しながら楽しみにしておられることと思います。あと少しだけお待ちください。それから、23日は舞台前、展示作品前の素通りはご遠慮ください。どうか少し立ち止まって煌びやかな衣装ではなく出演者の芸、展示品の奥深さを感じてからお通り下さい。また、一般公開ですので、ご家族お友達をお誘い合わせの上、お越し頂ければ幸いです。

日程の詳細は以下の通りです。ご参照ください。

第28回大学祭プログラム

日	時	内 容	
2月22日（土）	9:00～12:00	準備作業	
	13:00～15:00	展示部門のみ一般公開	
2月23日（日）	9:40～10:00	式典（体育館）	
	10:05～15:00	演芸	体育館
展示		各研修室等	

23日午後3時以降、大学祭の終了次第、直ちに後片付けを行います。在校生の皆様、ご協力の程宜しくお願い致します。

大学祭実行委員長 3年4班 川坂 成真

ク ラ ブ 紹 介

短歌クラブ

「学び舎のみずほの里の高大生
一歩踏み出す生涯学習」

全校生対象の登校日は原則として毎月2日間です。午前中は教養講座、午後からは専門講座が設けられております。その後午後3時からの2時間がクラブ活動の時間です。

講師は自由が丘町在住の兼貞靖行先生です。先生の分け隔てなく手取り足取りの優しいご指導にはいつも感謝しています。またその間の切磋琢磨と和気あいの研鑽と和みのひと時に私たち部員は笑顔がいっぱいです。現代短歌は万葉集や古今和歌集の古典詩のように難解なものでは決してありません。

日常生活での出逢いや触れ合い、そして世情の出来事や自然界の営みを観賞する中でつれづれに気づいたことや「趣」を5, 7, 5, 7, 7, の「31文字」で語りかける「抒情詩」です。

是非、私達の学習教室を覗いて見てください!、いつでも普段着のままで見学にお越しください。



「謳歌して仲間づくりにチャレンジも
自分磨きの暮らしの彩り」

1年4班 田原 正巳

民謡踊りクラブ

民謡は、その土地の人々のあいだで受け継いできた伝統的な踊りと、古くから伝わるその地方で行われる盆踊りなどがあります。



また、その土地の名所、特産品などを歌詞に盛り込んだ新民謡もあります。

民謡踊りクラブは結成して十数年になります。年齢層は60代~80代と幅広く、初心者から経験者までそれぞれです。私達のこのクラブは、知識がなくても、興味が有って真剣にやりたい人であれば参加できます。

若柳友利先生のご指導の下、日本各地の民謡踊りを、総勢22名が心身のリフレッシュと健康を保ち、元気に長寿を目指して楽しんでいます。

そして、地域の施設のボランティア活動に参加しています。

日時：(第2, 4金曜日)12:45~15:00

場所：市民活動センター

日時：(第3月曜日)10:00~12:00

場所：交流プラザ

民謡踊りクラブ部長 2年1班 元山 千恵子